

平成 29 年度 第 1 回 スポーツ推進審議会 会議記録

日時：平成 29 年 11 月 10 日（金）午後 3 時 00 分～

場所：奈良市役所 北棟 第 19 会議室

次第 1 開会

| | |
|-------------|---|
| 開 会 司 会 | <p>本日は、大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、平成 29 年度 第 1 回 奈良市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。</p> <p>まず、委員の皆様の出席状況を報告させていただきます。</p> <p>本日は、委員 6 名のうち、4 名の方にご出席いただいております。</p> <p>出席数が委員の半数を超えておりますので、奈良市スポーツ推進審議会に関する条例 第 7 条 第 1 項 の規定に基づき、会議が成立しますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、奈良市スポーツ推進審議会 会議運営要領 第 2 条 に基づき、この会議を公開とさせていただきます。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして 市民活動部 部長 澤野井 よりご挨拶を申し上げます。</p> |
| 開 会 挨 拶 部 長 | <p>市民活動部 部長の澤野井でございます。</p> <p>本日はお忙しい中、「奈良市スポーツ推進審議会」にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>平素は、本市のスポーツ振興に多大なるご理解とご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>先日は、奈良市出身の村田諒太選手がタイトルを獲得し、我々始め日本中が盛り上がったところです。</p> <p>今後、ラグビーのワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズなど国際スポーツ大会の開催が予定されており、市民のスポーツに対する関心も高まっております。</p> <p>また、健康への意欲も高まっており健康長寿社会の構築も求められているところでございます。そのため、社会のニーズに適合した実効性の高いスポーツ振興施策の展開が重要でございます。</p> <p>本日は、まず平成 30 年度にスポーツ団体への補助金、それから現在重点的に取り組んでおりますスポーツ施設の整備について、概略説明をさせていただきます。</p> <p>続きまして、奈良市のスポーツ推進計画の改訂についてでございますが、現在の計画は平成 25 年度から 10 年の期間で、今年度末で 5 年を迎え、スポーツを取り巻く環境も大きく変化しており、現状を踏まえ、将来を見据えた計画となるよう改訂を行いたいと考えております。</p> <p>スポーツ参画人口の拡大を図り健康で生き生きとした社会を実現し、奈良市を元気にしていくことが重要でございます。</p> <p>委員の皆様には、本市のスポーツ振興施策に関する諮問機関として、専門的見</p> |

| | | |
|----------|-----|--|
| | | <p>地をもとに、私ども行政側からは見えにくい視点やお考えなどについて忌憚のないご意見をお願いし、私の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はよろしくお願いいたします。</p> |
| 委員改選について | 司 会 | <p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、スポーツ推進審議会委員について変更がございましたので、ご報告いたします。</p> <p>まず、奈良女子大学 教授 藤原 素子 様 に委員にご就任をいただいておりますが、ご都合により退任のご意向があり、大変残念ではございますが、ご退任となりました。</p> <p>新たに 龍谷大学 教授 松永 敬子 様にご就任をいただくこととなりましたが、あいにく本日は急用によりご欠席でございます。</p> <p>松永様は、今回の議題でもあります「奈良市スポーツ推進計画」の当初の策定委員を務めて頂いており、本会議においても、計画改訂に関するご意見を事前に頂戴しております。</p> |
| 委員紹介 | 司 会 | <p>続きまして、ご出席を頂いている委員の皆様をご紹介します。</p> <p>○ 本審議会の会長、奈良教育大学 教授 高橋 豪仁 様です。</p> <p>○ 副会長、奈良市体育協会 会長 城田 全康 様です。</p> <p>委員の皆様をご紹介します。</p> <p>○ 奈良教育大学 教授 笠次 良爾 様です。</p> <p>○ 奈良西部病院救急課 救急部長 野阪 善雅 様です。</p> <p>なお、</p> <p>○ 奈良女子大学 教授 成瀬 九美 様は、あいにく本日はご欠席となっております。</p> |
| 事務局員紹介 | 司 会 | <p>続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民活動部 部長 澤野井 でございます。 ● 市民活動部 次長 松田 でございます。 <p>スポーツ振興課の職員を紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 課長 池田 でございます。 ● 課長補佐 土井 でございます。 ● 総務係長 森 でございます。 ● スポーツ振興係 谷 でございます。 |

| | | |
|--|------|--|
| | | <p>スポーツ産業支援室の職員を紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 室長 池田 でございます。 ● 主務 阪口 でございます。 <p>申し遅れましたが、私は本日の司会を務めさせていただく、スポーツ振興係長の北森と申します。よろしくお願いいたします。</p> |
| 進行司会 | | <p>それではこれより、奈良市スポーツ推進審議会に入らせていただきます。</p> <p>ここからは、奈良市スポーツ推進審議会に関する条例 第5条 第3項 の規定により、高橋会長に進行をお願いします。</p> <p>高橋会長よろしくお願いいたします。</p> |
| 開会挨拶 | 高橋会長 | <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は限られた時間ではありますが、忌憚のない建設的なご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 署名委員選出 | 高橋会長 | <p>会議に先立ちまして、本日の議事を記録に留め置くため、議事録署名委員を選出する必要がありますが、私から指名させていただいてよろしいでしょうか。</p> |
| | (委員) | <p>・・・異議なし・・・</p> |
| | 高橋会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは <u>城田 副会長</u> と <u>笠次 委員</u> のお二人にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>次第2 平成30年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について</p> | | |
| 次第2 | 高橋会長 | <p>では早速、次第の2「平成30年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について」審議を進めたいと思います。</p> <p>本議題は、補助要望が出ている団体へ補助することについて審議をいただくものです。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局説明 | 池田課長 | <p>平成30年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金についてご説明いたします。</p> <p>お手元の平成30年度スポーツ団体からの補助要望一覧をご覧ください。</p> <p>また、資料②-2として各団体の活動の状況等の資料をご用意させていただいております。</p> <p>来年度につきましては、一覧表の事業において補助金を交付したいと思います。</p> <p>昨年まで補助金を交付していた全ての団体に対して9月に事業内容等につきましてのヒアリングを行い、1年間の取り組み内容、目的、効果、会計報告を十分に確認し、補助金の活用のあり方についても事務局で検討いたしました。</p> <p>まず、1番の『奈良市体育協会』は、様々なスポーツ事業を展開し、各スポーツ団体の育成等にも関わり非常に多くのスポーツ団体の取りまとめ役として活動</p> |

| | | |
|------|---------------|--|
| | | <p>をしています。</p> <p>20番の早朝野球連盟から10県12チームで開催されている西日本生涯野球大会の開催補助金の申請があります。また、22番の奈良市サッカー協会から毎年7月に鴻ノ池で開催されます「少年サッカーフェスティバル」の開催補助金につきまして、増額の要望がございました。理由といたしましては、姉妹都市の韓国慶州市の選抜チームを来年度の大会に招致されるということです。</p> <p>その他の補助金につきましては、本年度の継続での事業と考えております。</p> <p>次に、姉妹都市交流事業について、26番の奈良市剣道連盟、27番の奈良市ソフトボール協会との小浜市との交流事業ですが、来年度は3年に一度の大会が開催される年度に当たります。その他の姉妹都市交流、23番、24番、25番については友好姉妹都市交流事業でございます。今後は、民間レベルの交流に奈良市としては転換していく方針で、経費の見直しをさせていたところでございます。</p> <p>それぞれの団体の目的、事業の概要につきましては、資料②-2をご覧くださいければと思います。</p> <p>現在、市の予算編成の段階でございますので、一部変更はあるかもしれませんが、スポーツ振興課の方で必要性を鑑みて査定を行ってまいります。</p> <p>ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p> |
| 審議進行 | 高橋会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>只今の説明に関しまして、何かご質問などございませんか。</p> |
| | 城田副会長 | 資料に関して、前回会議より内容が具体的に記載されている。 |
| | 笠次委員 | <p>補助費の合計額はどれぐらいですか。</p> <p>箱物事業の予算に比べ人の動く事業に対して奈良市が5年、10年という中でどの様な予算変遷となっているのか、また、削減しなければならない状況にあるのか。全体に占める割合として、実際の現場で活動する人たちに支出されているのはどの程度かを確認したい。</p> |
| | 事務局 | 総額は6,160,000円です。 |
| | 笠次委員 | <p>6,160,000円のうち4,000,000円が奈良市体育協会への補助金ということですね。</p> <p>補助金全体としては少しずつ減っているのでしょうか。</p> |
| | 事務局 (松田次長) | <p>以前はもっと多くの補助団体があったが、団体ごとに自主財源の確保をお願いし、ずいぶん団体数は減った。同時に、団体の自主財源確保による自立化を進めることで、行政の担う役割を「事業立上時の補助」ととらえて進めてきました。今後も団体のスポーツ事業が安定化し、補助対象事業数が減っていくことが望ましいと考えております。</p> |
| | 高橋会長 | <p>他にはよろしいでしょうか。</p> <p>では、スポーツ団体へ交付する補助金については、本審議会では適正と判じた</p> |

| | | |
|------------------------|------|--|
| | | ものとしします。 |
| 次第3 奈良市スポーツ施設の整備計画について | | |
| 次第3 | 高橋会長 | 続きまして、次第の3「奈良市スポーツ施設の整備計画について」事務局より説明をお願いいたします。 |
| 事務局説明 | 池田課長 | <p>体育施設等の整備計画についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、本市のスポーツ活動の中心である鴻ノ池運動公園について、「運動公園としての機能強化と利便性の向上を図り、公園利用者やスポーツ施設利用者など訪れるすべての人々が憩い、くつろぐことができる公園」となるよう、今後のあるべき姿を検討するため、「鴻ノ池運動公園再整備基本構想」を策定いたしました。</p> <p>お手元資料③-1のように、ゾーンごとに活用方針を設定しており、体育施設利用者だけでなく健康スポーツの推進や市民の憩いの場となるよう、今後の整備計画の柱として活用していきます。</p> <p>鴻ノ池周辺のエントランスエリアについては、周遊路の整備などと合わせて、公園内便益施設の誘致を実施した結果、今年の12月下旬にスターバックス・コーヒーの店舗が開設されることとなっています。</p> <p>また、課題である駐車場の不足についても、閉鎖していた「旧青年の家交楽館」を解体し、駐車場としての再整備を進めています。</p> <p>また、西部地域のスポーツ拠点である、西部生涯スポーツセンターについても、運転を停止していた空調設備の改修を実施しました。</p> <p>体育施設に限らず、公共施設全般に共通することではありますが、老朽化が進んでおり、施設の安全確保と長寿命化が課題となっています。市民のスポーツ活動の場を確保し、安全で利便性の高い施設となるよう取り組んでまいります。</p> <p>加えて、施設のバリアフリー化や通信インフラの整備など、施設の効用を高める設備の検討も必要となっています。安全確保を最優先に、魅力ある施設となるよう整備を進めてまいります。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 審議進行 | 高橋会長 | <p>ただいまの件につきまして、ご意見やご質問などいかがでしょうか。</p> <p>計画の中ですでに取り組んでいるものと、これからのものがあるようですね。</p> |
| | 笠次委員 | <p>鴻ノ池の様々な施設を取りまとめるような場所を設置する予定はありませんか。</p> <p>ハード面の管理というよりは主にソフト面で、具体的には「ささえる」活動の拠点として、いろいろなスポーツが出来るフィールドを統括して活動の支援をするような場があれば良いのではないかと思います。山城総合運動公園などでも実際にあるように、例えば、スポーツ振興課などが実際の現場に常駐し競技団体などと連携しながら、ソフトとハードをつなぐ役割の場所があると良いと思います。</p> |

| | | |
|---------------|--|---|
| | | 市民にとっても、鴻ノ池に行けばスポーツに関する様々なことが相談できるという場所になればよいと思う。 |
| 事務局 (池田課長) | | 陸上競技場にインフォメーションセンターのような拠点があれば良いと感じることもあるので、継続的に検討いたします。 |
| 高橋会長 | | 現在、公園内の施設管理は指定管理者ですか。また、契約年数は何年ですか。 |
| 事務局 (池田補佐) | | 指定管理になっており、協定期間は平成27年度から5年間となっています。 |
| 高橋会長 | | 奈良市民のスポーツ活動の拠点として、多くの市民が集い賑わいのある楽しい空間となるよう活用してください。 |

次第4 奈良市スポーツ推進計画の一部改訂について

| | | |
|-----------|------|--|
| 次第4 | 高橋会長 | <p>続きまして、次第の4「奈良市スポーツ推進計画の一部改訂について」 審議を進めたいと思います。</p> <p>委員の皆様から事前に意見書を提出いただいている方もおられますが、今回の計画改訂の趣旨と方針について、改めて事務局よりご説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 説明 | 池田課長 | <p>推進計画改訂の趣旨についてご説明させていただきます。</p> <p>「奈良市スポーツ推進計画」は、平成23年に施行された「スポーツ基本法」、平成24年に文部科学省が策定した「スポーツ基本計画」などを受け、平成25年に奈良市のスポーツ推進の基礎として策定した計画です。実施期間が10年間にわたる中長期的な計画ですが、今年度末で策定から5年を経過することから、取り巻く環境の変化などを計画に反映させるため、内容の一部改訂を行いたいと考えています。</p> <p>文部科学省が策定したスポーツ基本計画についても、これからの5年間の基本となる第二期の計画が今年度スタートしました。</p> <p>お手元資料④-1の概要版にもありますように、この第二期計画は、2020年東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした、国際スポーツ大会を控え、「する」「みる」「ささえる」といった多様な形で「スポーツ参画人口」を拡大することや、スポーツを通じて「活力あふれる絆の強い社会の実現」を目標とした計画となっています。</p> <p>この度の計画改訂におきましては、現計画の基本方針や実施施策では一定の成果が出ていることから継続し、不足している取り組みや新しい課題と施策展開について、加筆する方法を取りたいと思います。</p> <p>今回、事前に委員の皆様から頂戴しているご意見と、「奈良市スポーツでまちづくり ラウンドテーブル」のメンバーから頂いたご意見などをもとに、改訂案の第1稿を作成いたしました。</p> <p>改訂に関する資料としましては、お手元資料④-3に改訂のポイントをまとめさせていただいております。また、A4縦型の資料④-4が具体的な改訂案になります。</p> |

| | | |
|------|------|--|
| | | <p>資料④－４改訂案の右下番号３ページにおきまして、第１章「スポーツ推進計画とは」の項目において、趣旨と当初計画策定後の社会状況の変化について加筆しております。</p> <p>今後の改定プロセスにつきましては、資料④－２のとおり、本日の審議結果を反映した改訂案第２稿を作成し、市民からのパブリックコメントとラウンドテーブル会議で意見聴取を行います。その結果を反映した最終稿について第２回のスポーツ推進審議会でご審議いただき、最終案として市長へ建議し一般公開を予定しております。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 審議進行 | 高橋会長 | <p>今回の改訂の方針についてのご説明でした。</p> <p>では、資料④－３の４つのテーマに沿って、具体的な改訂案についてご説明をお願いします。</p> |
| 全体方針 | 事務局 | <p>それでは具体的な改訂内容についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、お手元のＡ４横長の資料④－３をご覧ください。</p> <p>今回の計画改訂においては事務局の改訂箇所の素案をもとに、審議会委員のみなさま、ラウンドテーブルメンバーのみなさまに改訂箇所や内容についてたくさんご意見を頂いております。資料の左端列にその中の主だったものを記載しております。頂いたご意見をもとに、現在の計画に不足していると思われる内容をカテゴリ別にし、計画改訂の柱とするため、中央列のとおり４つのテーマにまとめました。</p> <p>一つ目が「みる・ささえる活動の状況と課題」 二つ目が「子どもの活動支援の拡充」 三つ目が「スポーツ産業の現状と課題」 四つ目が「国際スポーツ大会を契機としたスポーツ参画人口増加」 の４つでございます。</p> <p>本日はこの４つのテーマに沿って、事務局で改訂素案を作成致しましたので、その内容をご説明し、委員の皆様にご意見とご指導をいただきたいと考えております。</p> |
| 方針確認 | 会長 | <p>４つのテーマについて一つ一つ改訂案について検討していきます。</p> <p>体系的な改訂になると思います。</p> <p>では、一つ目のテーマから順に説明をお願いします。</p> |

| | | |
|-------------|------------|--|
| <p>テーマ①</p> | <p>事務局</p> | <p>それでは一つ目の「みる・ささえる活動の状況と課題」についてご説明させていただきます。</p> <p>委員のみなさまからもご意見を頂いている内容でございますが、スポーツ庁の策定した第2期スポーツ基本計画においても、スポーツに関わる人「スポーツ参画人口」の拡大を目指した施策となっております。</p> <p>本市におきましても、トップスポーツのホームゲームをはじめとする「みる」スポーツや、奈良マラソンのボランティアなどスポーツを「ささえる」活動について、具体的に現状と課題を把握する必要があると考え、テーマといたしました。</p> <p>具体的な改訂箇所につきましては、第2章の現状把握と第3章の課題認識において新たに項目を加えました。</p> <p>まず、現状把握についてですが、資料の右下番号17ページ下部に、「スポーツを「みる」「ささえる」活動の実態」として、記述を加えています。</p> <p>「みる」活動の実態につきましては、パートナーとなっている奈良クラブやバンビシャス奈良の観客動員数をグラフ化し、それに対する現状を加筆しています。なお、トップスポーツチームに関する内容は、テーマの3つ目の「スポーツ産業の現状と課題」で記載しており、後ほどご説明させていただきます。</p> <p>「ささえる」活動の実態につきましては、奈良マラソンのボランティア数やトップスポーツチームのスポンサーなどについて記述しております。</p> <p>続きまして、この現状把握を受け右下19ページ第3章の課題提起において、新たに項目を加えております。</p> <p>ここでは、スポーツ産業やイベントボランティアに限らず、第2章の「障がい者スポーツの実態」などを受け、スポーツ参画人口を増やすことを目的とした課題とするため、包括的な記述方法を取っております。</p> <p>このテーマにおいて、第4章の基本理念や基本方針については、右下20ページの下部「まちがスポーツを支えます」などの項目で既に記述がありますので、現時点では加筆をしておりません。</p> <p>また、第5章の具体的な施策についても、右下27ページの「魅せるスポーツイベントの開催」や、右下28ページの「人材の育成・活用」などの部分で、参画人口を増やす取り組みについて既に記述がございますので、こちらも加筆をしておりません。</p> <p>当初の計画でも、取り組みが必要としている内容ですが、今回の改訂において、「みる」「ささえる」という部分にスポットを当て、現状と課題を認識することで、実効性の高い施策展開に繋がりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p> |
|-------------|------------|--|

| | | |
|------|---------------|--|
| 進行 | 会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>テーマの1つめについて、ご質問やご意見などございますでしょうか。</p> |
| | 笠次委員 | <p>「みる」「ささえる」の分野、特に「ささえる」活動については私も注目しています。加筆をした第2、3章と加筆し、具体的に第5章の施策においては既に記述があるとのことですが、第5章の市民のスポーツ活動の推進に向けてという部分において、「イベントサポートスタッフの育成・活用」という項目にあるスポーツサポーター制度というのは現状どのような状況ですか。</p> |
| | 北森係長 | <p>現時点ではこの制度は構築できていませんが、大きなイベントなどではスポーツ推進委員や奈良市体育協会にスタッフとしての協力依頼をしています。</p> |
| | 笠次委員 | <p>既存の団体だと、どうしても幅が広がりにくい部分があると思います。市民が注目しやすいようにするには、奈良マラソンのようにオープンに募集するような制度や、それを知る場所などを設置すると良いのではないかと。ぜひこの5年間で構築を進めて欲しいと思います。</p> <p>一方、マラソンについても全国的には競技人口が減少に転じていることが分かっています。各所で開催されているマラソン大会も、ボランティアが集まらずに運営に支障をきたしているものや、近隣の大規模な大会にランナーが集中して終了に追い込まれている大会もあります。ボランティアスタッフは、これからのスポーツ振興や地域活性化において重要な役割となってきます。他府県では、ボランティア募集のためスタッフウェアにチーム名を入れるなど興味を引く取り組みをしているので、先進事例を取り入れつつスポーツサポーター制度の実現を進めて欲しいと思います。</p> |
| テーマ② | 事務局 (池田課長) | <p>続きまして「子どもの活動支援の拡充」についてご説明させていただきます。このテーマは、第3章の課題把握において右下18ページ中段にある項目「子どもの活動支援」の拡充を目的としています。</p> <p>この課題に対しましては、計画策定後に、学校部活動への外部指導者の派遣や、平成28年度には学生の引率も可能な、部活動外部顧問などの制度が新たに設けられております。</p> <p>一方、指導者の専門性や指導水準については課題が残っています。</p> <p>今回の改訂では、第2章の現状把握において、右下5ページのとおり統計データの更新と、部活動の外部指導者派遣について記述を加えております。教育現場での努力や、外部指導者、スクールサポートなどの効果から、市立中学・高校においては運動部活動への参加率は維持されていると言えます。</p> <p>国のスポーツ基本計画においても、運動部活動のあり方に関する総合的なガイドラインの策定や、重大事故の防止、などが施策に挙げられていますが、本市においてもこれらの改訂を実際の指導現場に反映する取り組みが必要と考えております。</p> <p>特に熱中症の予防や、子どもの運動習慣作りのための取り組みなどは急務と考</p> |

| | | |
|-----|-----------------|--|
| | | <p>えております。</p> <p>これを受け、先ほどの18ページのとおり第3章に課題として、部活動の専門的指導の拡充と、発達段階に応じた運動習慣づくりを加えております。</p> <p>第4章の基本方針等については、21ページ中段の「スポーツ好きの子どもを育成するために」や22ページ「競技レベルを向上するために」などの項目で記述されているので、現時点で加筆はしておりません。</p> <p>第5章の具体的な施策展開において、28ページの下部に、「団体・大学と連携した指導者の育成・活用」の分野で、子どもの活動支援のためのプログラム導入など人材育成における連携強化を加えております。国際スポーツ大会を契機とした取り組みについても記述しておりますが、そちらは4つ目のテーマでご説明いたします。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 進 行 | 会 長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>子どもの活動支援の拡充ということで、現状のデータの更新と部活動などの現状について、書き加えたという状態ですが、ご意見などいかがでしょうか。</p> |
| | 笠 次 委 員 | <p>課題に挙げている「部活動におけるスポーツ指導資格者の増加」の部分で、外部指導者について、奈良市では現在どの程度の予算で実施していますか。県の方では、予算がなくなっているとも聞いています。</p> |
| | 事 務 局 (池田補佐) | <p>予算総額については手元で分かりませんが、派遣回数については6,800回分の予算を計上されていると把握しています。主に中学校・高等学校に派遣しています。平成27年から始まっております。平成28年からは文化部も対象になっています。</p> |
| | 笠 次 委 員 | <p>この取り組みは、外部のトレーナーや指導者の注目が大きくなっていますが、学校への派遣費などの費用面での制約があるのが現状でしょうか。継続性についてはいかがでしょうか。</p> |
| | 事 務 局 (池田補佐) | <p>予算に関する課題は現時点では確保されていますが、一方学校側の受容についても課題があると聞いております。外からの指導者をどう受け入れるかという事に加え、外部顧問制度による大会への引率などについても壁があるのが現状だと聞いています。現時点では伸び悩んでいる状況です。</p> |
| | 笠 次 委 員 | <p>それに関して、教育委員会とスポーツ振興課で横の意見交換や協議をしているということはあるでしょうか。</p> |
| | 事 務 局 (池田補佐) | <p>基本的には教育委員会の中で課題に取り組んでおり、中体連や各競技団体の間や、大会の種別にハードルがあると聞いています。教員の負担を減らすという意図もあり、市としては進めたいが、学校側としても課題を残した状況と認識しています。</p> |
| | 城田副会長 | <p>従来は、各学校に専門性を持った教員がいたが今は少なくなっています。奈良</p> |

| | | |
|------|---------------|--|
| | | 市体育協会としても、要望を受け派遣をしていることもあります。協会でも種目によっては指導者が充実していない部分もあり、そこは課題です。学校の部活動の種目維持のため体育協会としても取り組んでいます。 |
| | 高橋会長 | 具体的に奈良市体育協会の中からどの種目が何名派遣されているのかというデータも必要ですね。 |
| | 野阪委員 | <p>教員に専門性があっても、学校現場では異動もありそれに部活動種目が左右される状況もある。部活動の維持においてはクラブのサポートという点も考慮に入れなければ、学校スポーツは今後立ち行かなくなると思う。</p> <p>学校部活動は教員が主体になる現場がほとんどだと思うので、各団体でそれを十分に把握し、調整していく必要があると思う。</p> <p>単純に不足するところに人員を補充すればよいというものでもない。</p> |
| | 笠次委員 | 学校における運動部活動の意義も重要です。競技スポーツだけなら社会体育で十分だが、こどもに対する理解や把握という面でも学校スポーツを活用しているので、スポーツだけでなく様々な面から考慮して進めて欲しい。 |
| | 事務局 (松田次長) | 学校現場においては、現時点では教科を中心にされており、部活動においては指導できる教員の有無によるところが大きい。民間クラブなどで活動していた小学生以下の児童が、中学校に上がったときに対応する部活動が無いこともあり、社会体育と学校体育が担っていく役割のバランスも課題です。 |
| | 笠次委員 | <p>その分担がこの学校指導者派遣という形で今実施され始めた状況ということですね。</p> <p>また、先ほどの「団体・大学と連携した指導者の育成・活用」の項目についてですが、熱中症の事故の関係で調査委員会の委員長も務めました。その後、各学校や県からの依頼で、単発で講習などを実施しましたが、そうではなく中学・高校向けに5年なら5年という中長期的に教員や生徒にアプローチをすることが必要だと思います。現場の教員のスキルアップをどのように市がサポートするかも大切で、講習会だけでなくワークショップ形式など実践的かつ継続的な取り組みを大学と連携して実施していけないかと思う。</p> <p>県の外部指導者の一部で、コンディショニング、栄養、メンタル、アンチドーピングを4つのテーマを設定し、県教委の主導で学校向けに出前講座などを行っています。その中で熱中症対策や、怪我の防止のためのウォーミングアップ実技指導なども始めています。県の事業の持続性も不確実ですが、複数の大学との連携も含めて、そのような専門的な指導力を活用して欲しいと思います。</p> <p>アクティブチャイルドプログラムについても指導者養成をすることも可能です。子ども達の体力向上だけでなく、社会性や元気な子どもを育てていくという面でのノウハウもあるので、ぜひ活用して欲しいと思います。</p> |
| テーマ③ | 高橋会長 | では、次のテーマに移りたいと思います。「スポーツ産業の現状と課題」についてご説明をお願いします。 |
| | 事務局 (池田補佐) | 本市におきましても、計画策定当初では発足や取り組み段階であった、バスケットB2リーグのバンビシャス奈良や、JFLで活動する奈良クラブなど、トッ |

| | | |
|-----|------|---|
| | | <p>プスポーツチームの活動が発展してまいりました。</p> <p>本計画においても、その状況や課題を認識するため、一部加筆を行いたいと思います。</p> <p>まず16ページをご覧ください。</p> <p>第2章の現状把握において、新たに「スポーツ産業の実態」として項目を加えました。また、それに伴い9ページの従来の「競技スポーツの実態」の項目から、スポーツ産業に関わる部分を削除しております。「競技スポーツの実態」の記述につきましては、4つのテーマの説明の後に改めてご説明いたします。</p> <p>計画の運用を開始した平成25年度に、スポーツに関係する諸産業の活性化に専門的に取り組むことを目的として、スポーツ産業支援グループを設け、「Top Sports City 奈良」と題して、市内を拠点に活動する、バスケットボールの「バンビシャス奈良」、サッカーの「奈良クラブ」、プロサイクリングの「シエルヴォ奈良」、女子ホッケーの「南都銀行 SHOOTING STARS」の4チームをパートナーとして試合の開催など様々な取り組みを進めております。また、バンビシャス奈良と奈良クラブの活動支援にふるさと納税制度も活用しております。</p> <p>一方、スポーツツーリズムにおいては、年末年始の高校花園ラグビーの出場校の合宿誘致を行っていますが、拠点の問題などもありその他の取り組みはあまり進んでいないのが現状です。</p> <p>このテーマにおいては、19ページ下段のように、課題を「みる活動の定着」として、第3章の課題提起において、「みる・ささえる活動の推進」として、加筆しています。</p> <p>この課題に対して、22ページ、第4章基本方針の「スポーツ産業の振興」の分野において、スポーツ産業を推進する体制の構築を基本方針に加えしました。</p> <p>具体的な施策については、27ページの「魅せるスポーツイベントの開催」や、29ページの「地域によるプロチームの育成、支援」など、策定当初の施策が該当するため、現時点では加筆しておりません。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 進 行 | 高橋会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>このテーマについては、計画策定当初から状況が変化しているということで、加筆や修正をされているということです。</p> <p>委員のみなさまご意見などいかがでしょうか。</p> |
| | 笠次委員 | <p>観客動員数の数値が減少していますね。バスケットは特にリーグの統合以降、勝利数が非常に少ないことも考えると、やはり勝敗に観客数が左右されますね。</p> |
| | 高橋会長 | <p>勝敗によらず観客の来るチーム作りは重要ですが、やはり勝ってほしいですね。サッカーもJFLから上のリーグへ早く上がってほしいです。</p> |

| | | |
|------|---------------|---|
| | 笠次委員 | 自転車はあまり露出が無いですね。近隣ではあまり大きな大会が無いのも現状ですね。 |
| | 野阪委員 | 自転車競技人口自体が減っているように感じます。プロ競技としても縮小があるのかもしれないが、話題として聞く機会がないのは残念。 |
| | 笠次委員 | 奈良は国体でも奈良北などが自転車競技で頑張っているのので、継続して活動を追って欲しい。 |
| テーマ④ | 高橋会長 | それでは、次のテーマ「国際スポーツ大会を契機としたスポーツ参画人口増加」についてご説明をお願いいたします。 |
| | 事務局 (池田補佐) | <p>当初の計画策定後に、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする大規模な国際スポーツ大会の国内開催が決定しました。</p> <p>本市におきましてもこれを契機としてスポーツ参画人口を増やし、計画の基本理念である「スポーツでまちづくり」に繋げる取り組みを進めたいと考えております。</p> <p>また大会の開催時期に限定した一過性の事業とせず、継続的に市民のスポーツ活動の活性化を進めることが出来るよう、取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>今回の改訂におきましては、第2章の現状把握において17ページの上段のように現在の取り組みを加筆しています。</p> <p>本市はオーストラリアのキャンベラ市と姉妹都市提携をしていることから、2016年に開催されたリオオリンピックのアジア最終予選に出場するため来日した同国の女子サッカーチームが鴻ノ池陸上競技場において事前合宿を行いました。現在、内閣府オリパラ事務局のホストタウン制度において、オーストラリアを相手国としたホストタウン登録をし、女子サッカーチームの事前合宿誘致を進めています。</p> <p>課題としましては、19ページ下部のとおり、このホストタウン事業を核として、市民のスポーツへの関心の高まりを実際のスポーツ活動につなげていく取り組みを展開することとし、加筆しています。</p> <p>第4章の基本理念や方針については変更をせず、あくまで国際スポーツ大会は契機であり、計画策定当初の目的を達成するためのツールとして活用していきたいと考えております。</p> <p>施策展開については、28ページの下段のとおり、オリンピック教育に関する人材育成の面での連携強化と、30ページ下部の「東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み」のとおり加筆を予定しています。</p> <p>キャンプ誘致に加え、フラッグツアールや聖火リレー・パブリックビューイングなどのイベント、学校現場やシンポジウムなどのオリンピック教育など多岐に渡る事業を、告知や人材の面で相互に協力して実施し、一体感を持って展開してい</p> |

| | | |
|------|-------|--|
| | | <p>きたいと考えています。</p> <p>具体的な取り組み方法については、事務局としても模索しているところで、事業の手法などについては本審議会やラウンドテーブルでも意見を頂戴し、協力をお願いしながら検討して参りたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p> |
| 審議進行 | 会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>このテーマについて、ご質問やご意見などございますでしょうか。</p> |
| | 笠次委員 | <p>事務局としてもオリパラに関して現場へのアプローチを模索しているとのことですが、見学や視察などの実績はありますか。</p> |
| | 事務局 | <p>現時点では他市町村も含め、あまり調査が進んでいません。</p> |
| | 笠次委員 | <p>JPCが毎年パラリンピック競技の普及啓発事業を展開しています。夏に大阪、長居公園でも開催されており、私も手伝いに行っています。</p> <p>東京など首都圏では、2020年に向けた競技に関するイベントや、学校向けの普及啓発などが多数を行われています。関西圏でも大阪や神戸ではパラ競技に関する事業などは展開されているので、ぜひそういう場に見学に行き、教育現場へのアプローチなどのノウハウを仕入れて欲しいと思います。</p> <p>また、奈良女子大学や本学（奈良教育大学）でもオリンピック教育の分野でいうと大学の教員も活用して欲しいと思います。</p> |
| | 城田副会長 | <p>国際大会を盛り上げるトップレベルの選手と同時に、一般市民におけるスポーツ参画人口の増加が課題です。例えば婦人バレーなどは子育て期の女性も積極的に活動していますが、大人になってから継続することの少ない競技もあり、そのような活動を継続する取り組みも必要だと思う。</p> <p>市民体育大会などでも、それぞれに競技者はいるが競技人口は限定的な印象がある。他行政の事例を研究してみても良いと思う。</p> |
| | 笠次委員 | <p>例えば奈良マラソンなどは、非常によいコンテンツでそこに付加価値をつけていくというのも方法として有効だと思います。例えばとあるトライアスロンの大会の事業報告書は非常に分厚く、こども記者などを設けるなど、参画者をたくさん掲載することで、やって良かったと思える事業展開をしています。</p> <p>一つのイベントに様々な要素を付加価値として加え、子どもたちの思い出に残る細かなイベント展開をすることもスポーツ参画の促進において必要だと思う。</p> <p>既存事業を見直すことで、コストも抑えつつ新たな効果を生むことができるので、中身の工夫を進めて欲しい。大きな大会の誘致も「ささえる」活動の取り組み推進に効果があります。</p> <p>スポーツの価値（インテグリティ）を高めるという部分においても、トップ選手の学校等への派遣について、各競技団体が社会貢献として取り組みを検討しているため、今後招致しやすい環境がくると思います。</p> |
| | 野阪委員 | <p>スポーツフェスティバルなどイベントでの市民参加はどのような状況ですか。</p> |
| | 事務局 | <p>天候にもよりますが、3,000人程度です。</p> |

| | | |
|-------|---------|---|
| | 野 阪 委 員 | <p>そこを拡充するのも良いと思います。</p> <p>御所市でもイベントでの抽選券配布などもしていますが、今度ラグビーの試合を誘致していたりもします。また、イベントに有名アスリートを誘致する場合は、奈良マラソンのような大規模イベントより、中規模なものに招致した方が誘客とふれあいの増加につながると思います。</p> |
| そ の 他 | 高 橋 会 長 | <p>それでは、その他の改訂箇所について事務局よりご説明をお願いします。</p> |
| | 事 務 局 | <p>今回、みなさまから頂戴したご意見をもとに、計画後の状況などについて一部改訂を加えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7ページ「高齢者のスポーツ活動の実態」について、国勢調査等をもとに統計データを更新しております。 ● 8ページ「障がい者スポーツの実態」について、奈良市総合福祉センターを中心として実施している教室や大会の情報を、平成29年度事業計画に更新しています。 ● 9ページ「競技スポーツの実態」について、市内のスポーツ活動の状況を更新しています。体育協会の加盟団体数が3団体減少しています。また、スポーツ産業を別項目にしたため、一部削除しています。(フォークダンス、サイクリング、綱引 高齢化による団体の消滅) ● 10ページ「スポーツ施設の実態」において、平成26年度に新設した鴻ノ池陸上競技場 多目的広場について加筆しています。 ● 12ページの「スポーツ活動機会の実態」については、次ページのとおり平成24年度と平成28年度の比較表に改めています。 ● 15ページの「スポーツ活動に関わる情報発信の実態」については、SNSを活用した情報提供について加筆しています。 <p>第5章の施策展開において、ご意見や現在の取り組みを反映するため、一部加筆をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 24ページの中段「既存のスポーツ施設の有効利用」において、現在鴻ノ池運動公園で実施しているネーミングライツに関する事項を加えています。 ● また、「ウォーキングコースの整備」の一部にハイキングコースや活動拠点の設置など、健康スポーツの推進において、楽しんで取り組むことの出来る環境整備について加筆しています。 <p>改訂箇所は以上でございます。</p> <p>最後に、本日ご欠席ではございますが、松永委員から頂いているご意見につきましてご報告し、みなさまにご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>資料右下4ページをご覧ください。</p> <p>本計画において不足している部分でございますが、女性のスポーツ参画に関する取り組みについて検討すべきのご意見です。</p> <p>実際に市立中学校・高校での女子の運動部参加率も男子と比べると低く、特に高校では非常に低くなっています。計画当初の調査においても子育て世代の女性</p> |

| | | |
|-------|------|---|
| | | <p>のスポーツ参画が低いという結果が出ています。</p> <p>幼児期からの運動習慣づくりに通じる部分もあるかと思いますが、それを継続するための方策についてご意見やご教示をお願いいたします。</p> |
| | 高橋会長 | <p>ありがとうございました、改訂箇所や女性のスポーツ参画についてご意見などいかがでしょうか。</p> |
| | 笠次委員 | <p>女性のスポーツ参画増加とは少し異なりますが、女性アスリーの三主徴(FAT: female athlete triad)も問題となっています。これは、競技力や審美性を高めるため、痩せていることを目指すあまり、相対的なエネルギー量不足、無月経、骨粗しょう症の3種類の症状を引き起こすことを示します。県でも思春期の女性に対して正しいスポーツ活動の指導をする取り組みが始まっています。</p> <p>スポーツをしていない層に対しては、普段の生活をあえて不便にすることで、運動性行動を増加させようというのも一つのアプローチ方法だと思います。</p> <p>いずれも、教育現場などで望ましいスポーツ活動を指導する仕組みが必要だと思います。指導の質の向上へのアプローチの機会があれば、医療や大学の面からも様々な連携が出来ると思います。</p> <p>話が変わりますが、今回ロゲイニングというスポーツを紹介させていただいています。オリエンテーリングに似たものですが、チェックポイントの通過方法をキーアイテムの写真撮影にするなどコストのかからない開催が可能なのがポイントです。奈良は名所が多いのでぜひ開催を検討いただけたらと思います。</p> |
| | 野阪委員 | <p>面白いですが、地域の協力が不可欠ですね。</p> |
| | 笠次委員 | <p>そうですね、むしろ地域をアピールするため協働で事業を進めた方がよいと思います。</p> |
| 進行 | 会長 | <p>それでは、本会議の意見を反映したものを案として、4つのテーマを中心としてパブリックコメントとラウンドテーブルでの意見募集を進めていただくようお願いいたします。</p> <p>次回会議において、集まった意見をもとに最終的な調整を行い、平成30年4月改訂版の最終案として決定したいと思います。</p> |
| 次第5 | 高橋会長 | <p>それでは、次第の5に進みたいと思います。</p> <p>事務局よりその他のご説明はありますか。</p> |
| 事務局説明 | 池田課長 | <p>特にございませぬ。</p> |
| 審議進行 | 高橋会長 | <p>委員の皆様からは何かございませぬでしょうか。</p> <p>それでは、本日の会議はこれをもちまして閉会といたします。委員の皆様ありがとうございました。</p> <p>では事務局にお返しします。</p> |
| 閉会 | 司会 | <p>本日は、大変お忙しい中ご出席を賜り、また貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。</p> <p>皆様にいただきましたご意見を施策の実施に反映させ、今後開催される国際的な大会などの効果を、本市のスポーツ振興においても十分に取り入れることが出</p> |

来るよう計画・実施してまいります。

また、スポーツ推進計画の改訂につきましては、今年度中の改訂に向け、引き続きご指導とご鞭撻を賜りたいと思います。何とぞよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

【終了】